

質 問 順 位	11	質 問 者	佐々木 和 代 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 保健福祉行政	1. 児童虐待について	1. 児童虐待については、児童相談所への児童虐待相談対応件数が年々増加の一途をたどっており、子どもの生命が奪われる重大な事件も後を絶たないなど深刻な社会問題となっています。 厚生労働省のまとめによると2018年度全国の児童相談所での虐待の相談対応件数は、約16万件を超え過去最多を記録し、統計を取り始めてから28年間毎年増加していると公表されています。 滝川市における児童虐待の相談対応件数を含め現状と課題について伺います。		
	2. 認知症対策について	1. 65歳以上の10%が認知症患者といわれる中、働き方改革では高齢者の就業促進が行われ、ますます認知症の予防は大切になると考えます。また、認知症に罹患してからの受診では患者本人が拒否するケースも多く、家族が大変苦勞している姿を目にします。そこで滝川市で実施している特定健診の検査項目に認知症の検査も加え、早期発見につなげることで認知症予防になると考えますが、市の見解を伺います。		
2. 市立病院	1. 外来受診の待ち時間短縮システム導入について	1. 滝川市立病院の外来受診において、待ち時間が長く半日も待たされるときもあると聞いています。高齢者、特に認知症の患者さんは、待っていることが困難なケースも多く、待ち時間の短縮が望まれます。最近では受診の順番が来る少し前にスマートフォン等にお知らせするシステムもありますので、このようなシステムを導入し、スムーズな診療を行うことが市立病院の経営改善にもつながり、介護現場の人手不足解消にもつながると考えますが、見解を伺います。		